

第3回千葉市新庁舎整備シンポジウム

1. 基本方針

■ 基本理念 ■

1 人口構成や社会ニーズなど将来の変化に柔軟に対応できるような新庁舎整備を進めていきます。

2 政令指定都市における本庁舎として、通常業務の遂行性に優れた新庁舎整備を進めていきます。

3 非常時においても状況の変化に柔軟に対応できる、業務継続性を備えた新庁舎整備を進めていきます。

■ 本庁舎のあるべき姿 ■

将来の変化
への柔軟性
の確保

将来の人口構成や社会ニーズの変化に対応できる庁舎

長期間にわたり効率的に使い続けることができる庁舎

通常業務
の遂行性
の確保

市民や事業者にとって使いやすく、利便性や機能性に優れ、環境にも配慮した庁舎

優れたセキュリティを持ち、安全に業務遂行できる庁舎

非常時の
業務継続性
の確保

地震をはじめ、災害に強い構造を備えた庁舎

非常時の業務継続機能を備えた庁舎

2. 基本設計コンセプト

コンセプト1

まち・人・緑をつなぐ シティホール

1-1 本庁舎周辺エリアのまちづくりへの寄与

～ 「まち」と「みなと」をつなぐ ～

- 大きくリニューアルされ、新たなにぎわいの核となる JR 千葉駅周辺エリアと、千葉ポートタワーや旅客船桟橋などが立地する臨港エリアの中間に位置し、「まち」と「みなと」をつなぐ結節点となる市庁舎を目指します。
- 臨港プロムナードやみなと公園・モノレール駅などの都市施設と一体となる沿道型の建物配置とするとともに、周辺エリアのまちづくりに寄与するよう機能配置を行います。

1-2 市民に開かれたシティホール

～ 人が集う ～

- 庁舎の表玄関となる低層棟に、明るく開放的なロビー空間を整備するとともに、市議会をはじめ、市民センター・イベントスペースなど市民利用の多い機能を整備し、市民に開かれたシティホールを目指します。
- 市民生活を支える企業・団体等が集積する立地特性を活かし、市政運営の拠点・総合防災拠点として、円滑な市政の情報発信・情報提供ができるよう機能配置を行います。

1-3 立地環境を活かした緑のまち並み形成

～ 緑で憩う ～

- 臨港プロムナード沿いの街路樹やみなと公園に面した緑のつながる立地環境を活かし、壁面緑化・さくら広場など、市民の憩いの場となる緑化空間を整備することで、周辺の緑と調和したまち並みを形成します。

コンセプト2

政令指定都市の拠点にふさわしい機能を備えた庁舎

2-1 時代の変化に対応する柔軟性と効率性を備えた庁舎

- フレキシブルな執務空間を積層する高層棟と、市民サービス・議会エリアを集約する低層棟の、明快な分節による機能的なフロア構成とします。
- ユニバーサルレイアウトを採用し、組織改編に効率的に対応できる柔軟性のある執務空間とします。

2-2 政令指定都市の拠点にふさわしい利便性と機能性を備えた庁舎

- 窓口と執務空間の明快な区分、関連部署の近接配置、議会エリアの低層棟配置などにより、来庁者のワンストップ性を発揮し、市民の利便性と職員の機能性を備えた庁舎とします。
- セキュリティに配慮した動線計画や機能配置により、低層棟1・2階のイベントスペース・食堂・カフェなど、閉庁時の市民利用に配慮した空間構成とします。

2-3 非常時の業務継続性を備えた庁舎

- 総合防災拠点として、免震構造の採用やインフラの多重化・災害発生時のバックアップ機能を備えるなど、非常時の業務継続性を備えた庁舎とします。
- 周辺エリアに立地する企業・団体等との連携など、通常時のみならず、非常時の運用へのシームレスな移行に配慮した空間構成とします。

2-4 省エネルギーと環境に配慮した庁舎

- 自然エネルギーを活用するなど、省エネルギー化・環境負荷の低減を図るとともに、更新や維持管理のし易さに配慮した庁舎とします。

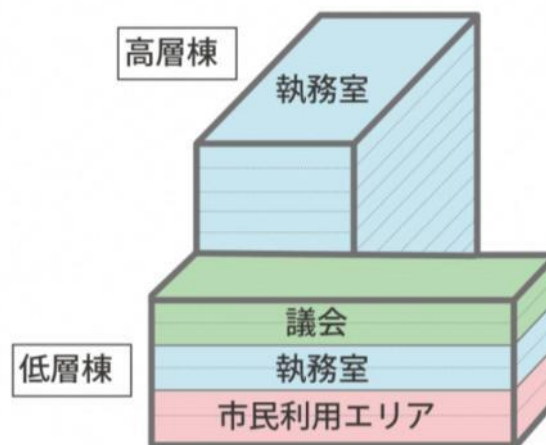
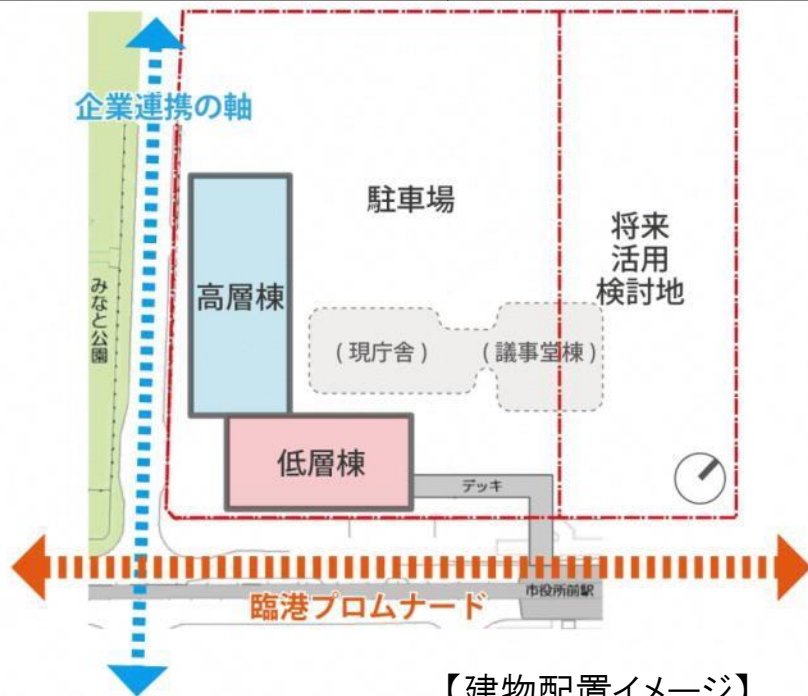
新庁舎基本設計の概要

千葉市新庁舎整備基本設計

1. 計画概要

建物概要

敷地面積		約29,000㎡(現庁舎敷地:39,680.95㎡)
庁舎棟	主要用途	本庁舎
	建築面積	約6,800㎡
	延べ面積	約49,400㎡
	階数	地上11階 塔屋1階
	高さ	約53.0m
	構造種別	鉄骨造(基礎免震構造)



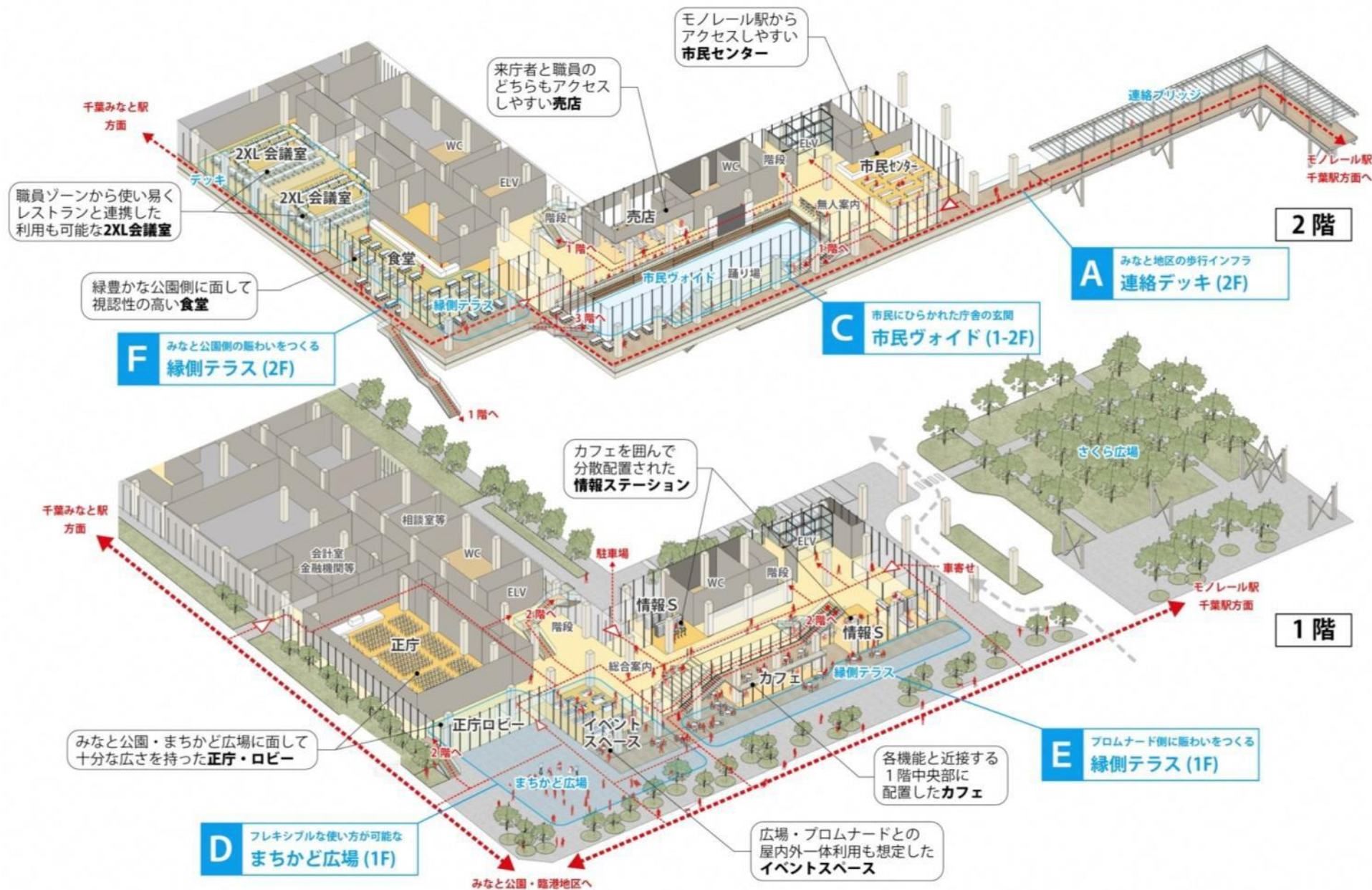
2. 敷地利用計画



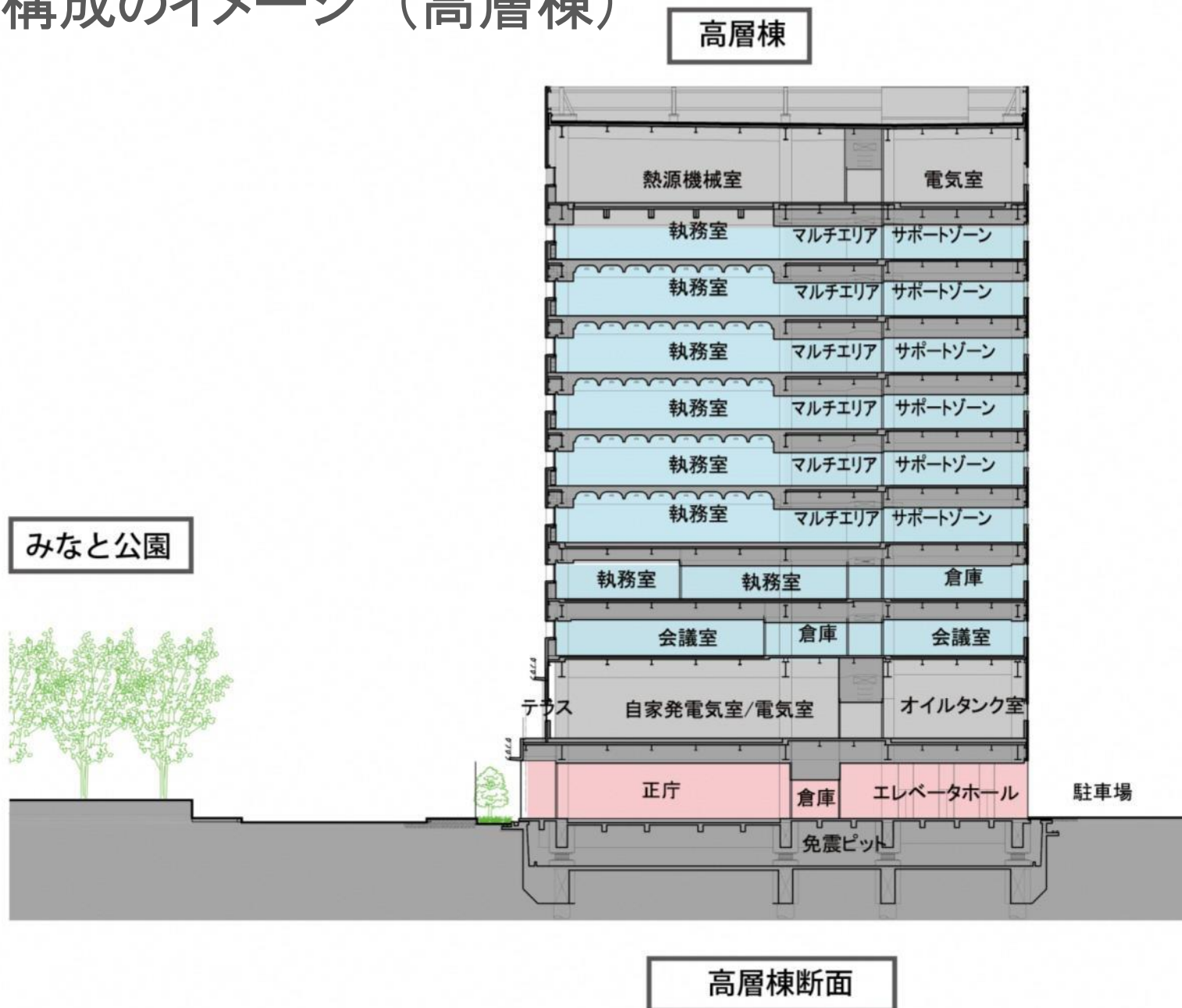
3. 敷地及び建物内の動線計画



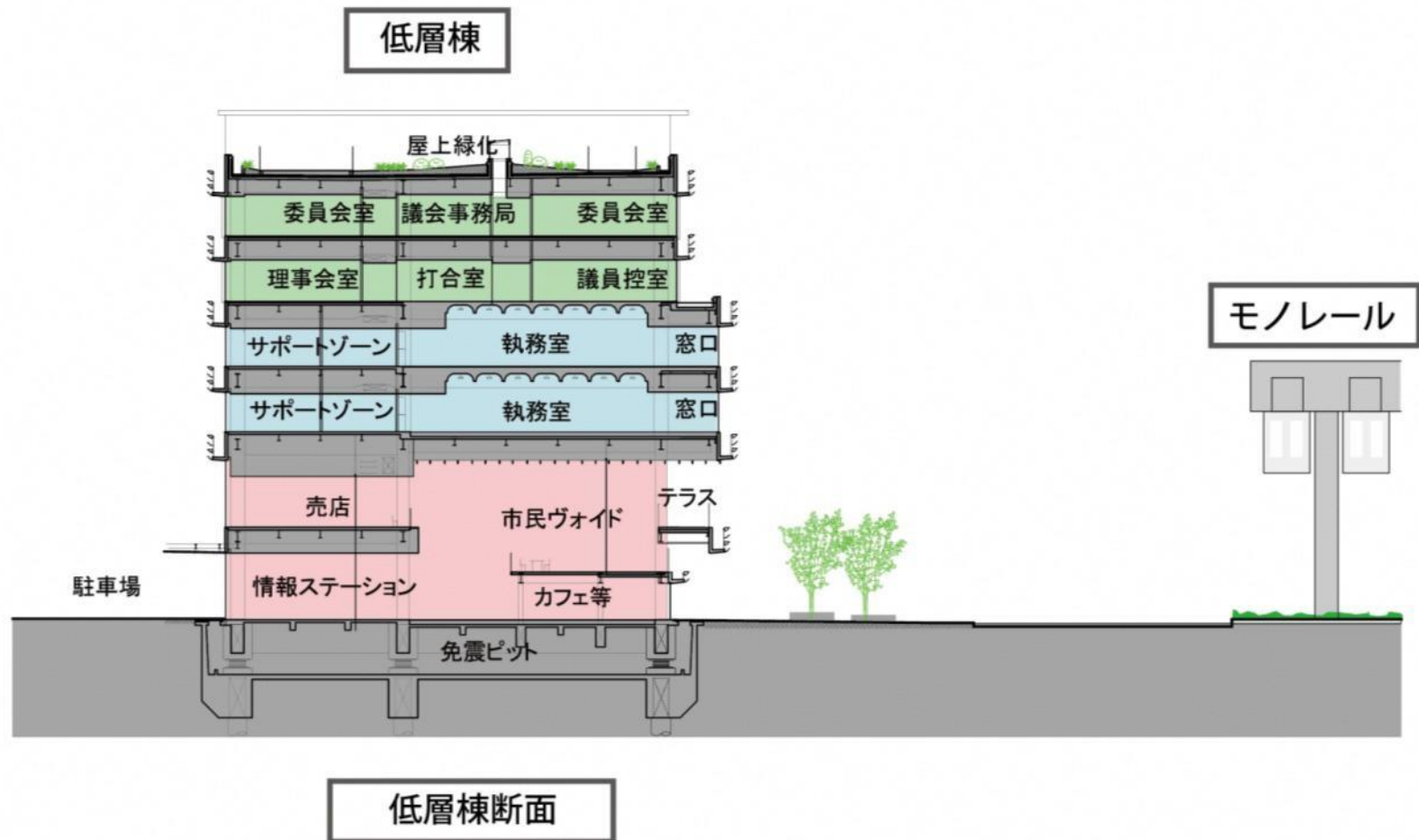
4. 1・2階市民利用エリアのイメージ



5. 建物構成のイメージ（高層棟）




5. 建物構成のイメージ（低層棟）




6. 執務室の考え方

【凡例】

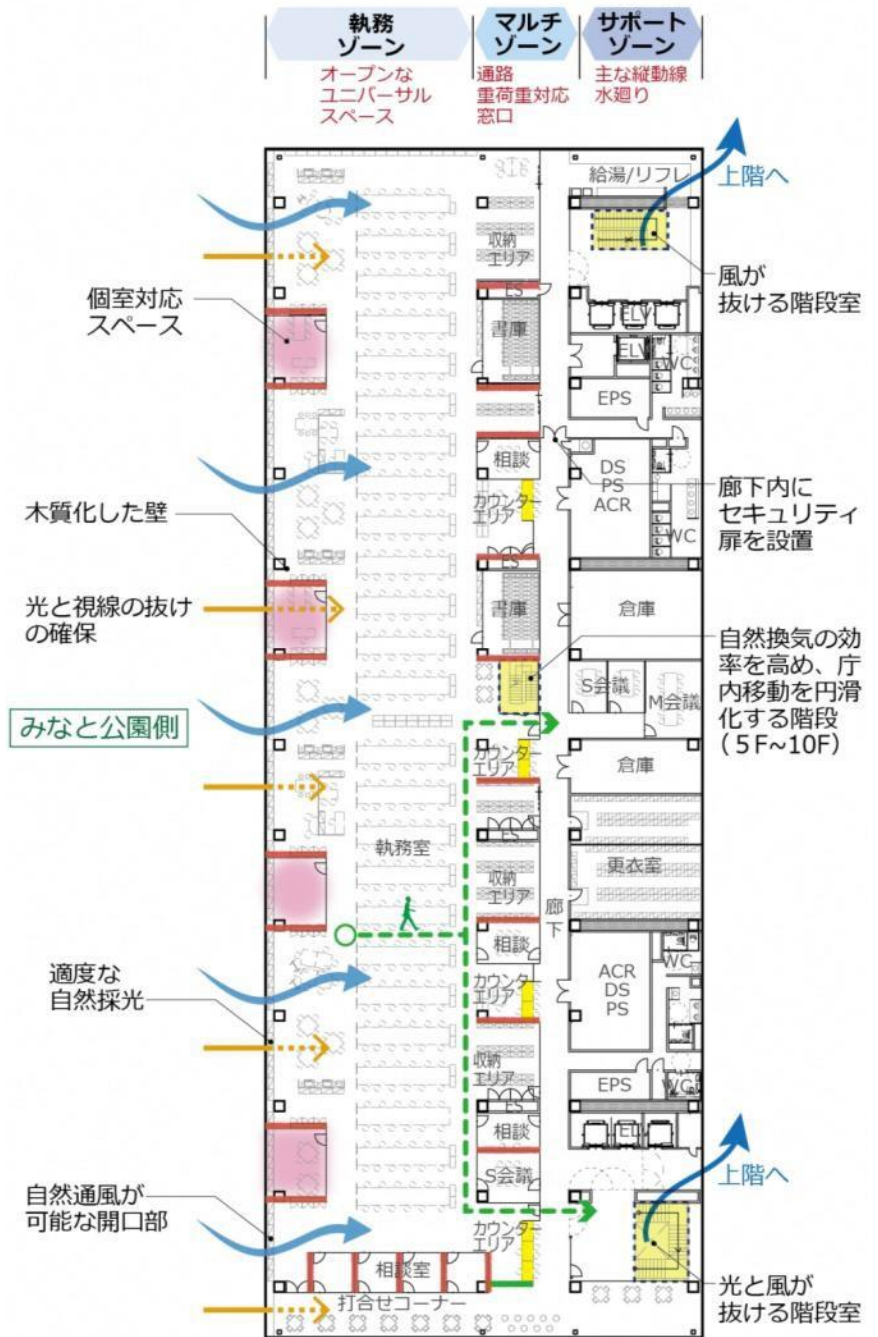
 階段室
(最上部に換気窓・トップライト設置)

 局長等個室対応エリア

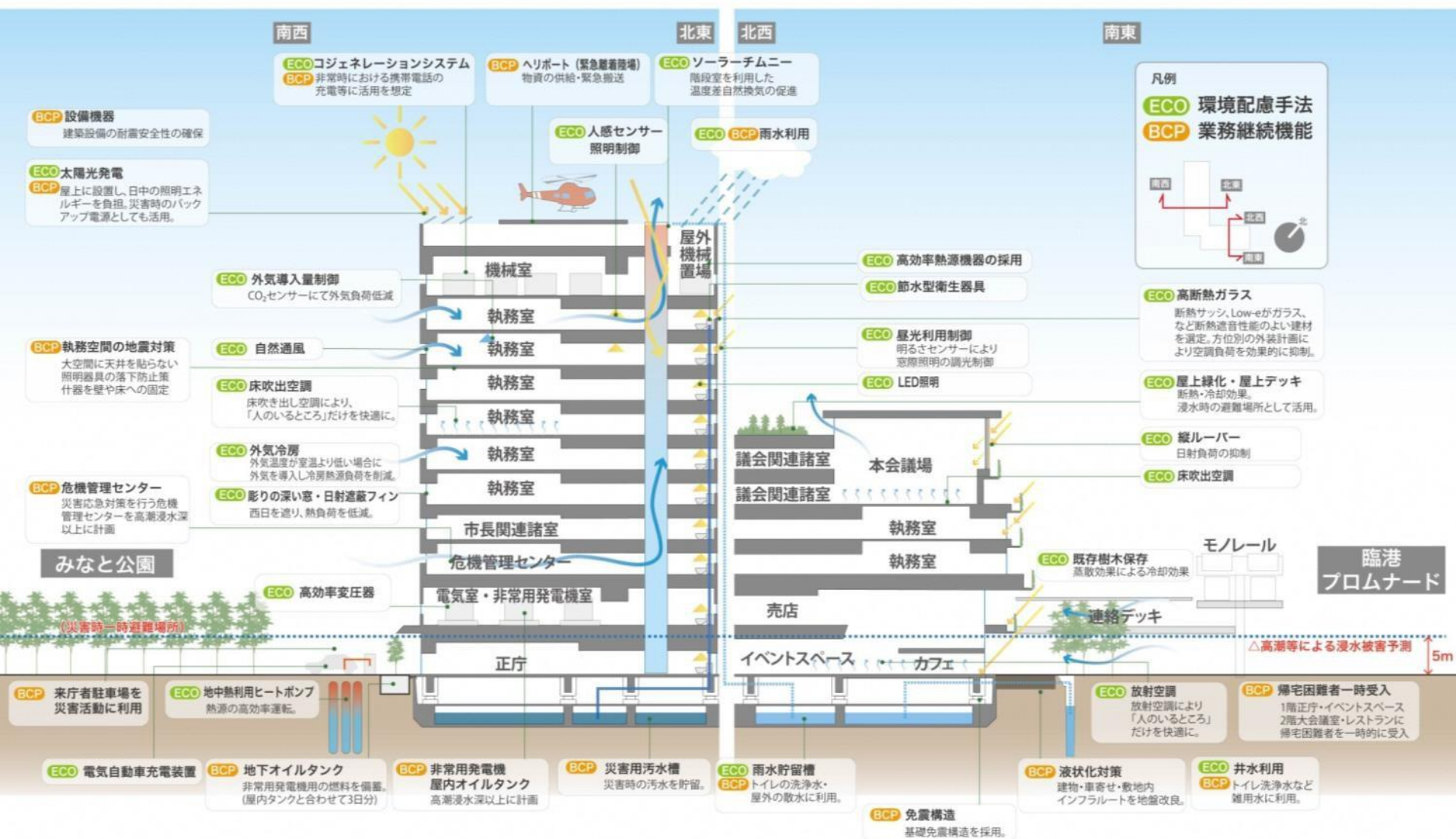
 自然通風

 自然採光

 職員動線



7. 環境配慮計画・業務継続計画



外観イメージ①

【A】鳥瞰



外観イメージ②

【B】プロムナードのみなと公園側から



外観イメージ③

【C】駐車場側から



1・2階内観イメージ①



1・2階内観イメージ②

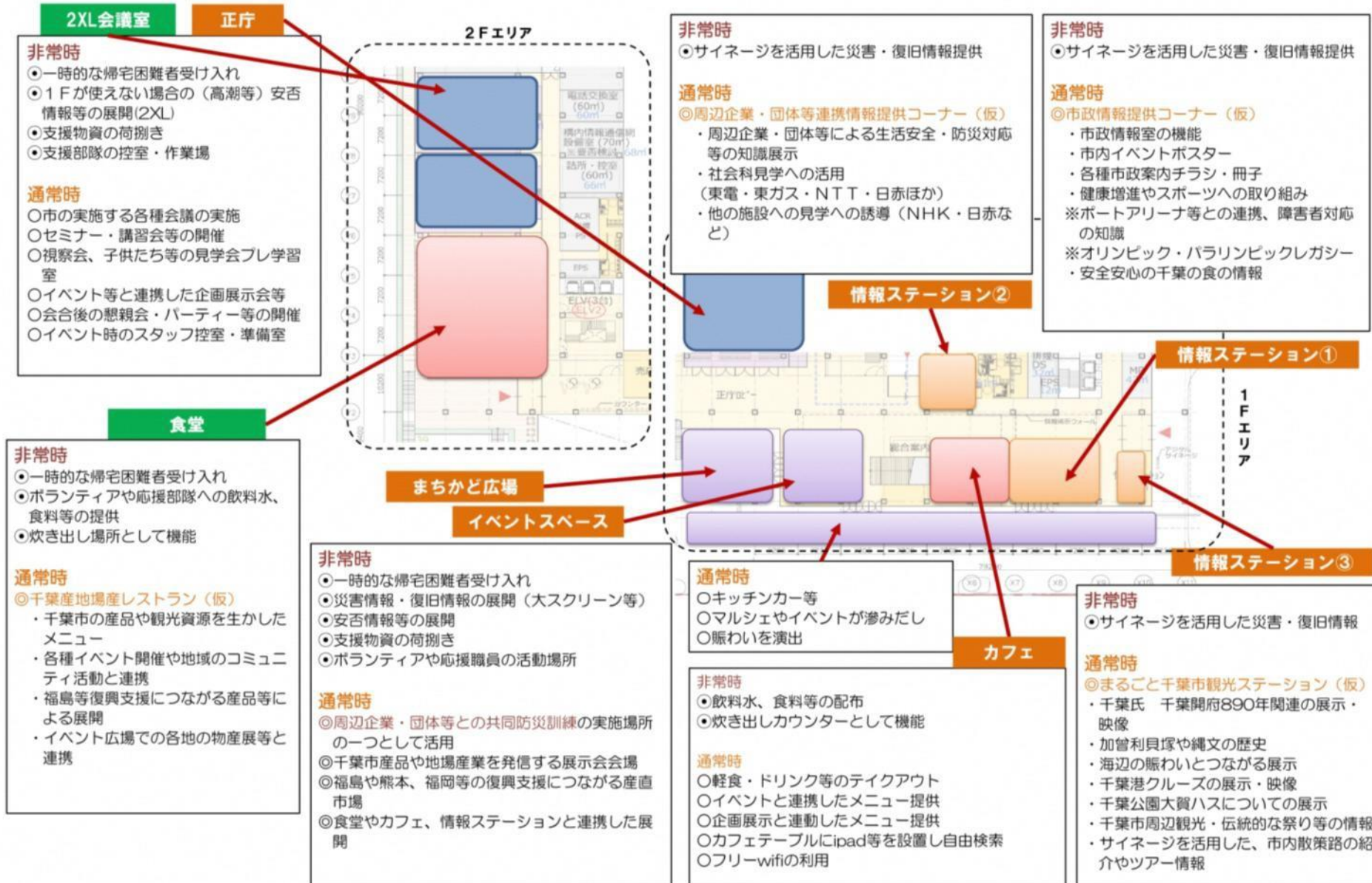


執務室のイメージ



(参考)新庁舎整備1・2階の活用イメージ

この資料は、第2回新庁舎整備シンポジウム（29年2月）をきっかけとして、本庁舎周辺の企業・団体等と市の意見を基に、新庁舎の1・2階の空間や機能における、各企業・団体の活用イメージ（通常時・非常時）や市が実施可能なイベント・展示などの案を示したものです。



(参考)概算事業費

		基本設計	基本計画
総事業費		約 3 0 7 億円	約 2 9 8 億円
内訳	建設工事費	約 2 6 3 億円	約 2 6 4 億円
	建設工事以外	約 4 4 億円	約 3 4 億円

※消費税率は8%(平成31年10月に改訂予定)